【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成29年8月17日(2017.8.17)

【公表番号】特表2016-532453(P2016-532453A)
【公表日】平成28年10月20日(2016.10.20)
【年通号数】公開・登録公報2016-060
【出願番号】特願2016-536414(P2016-536414)
【国際特許分類】
Ａ２３Ｌ　33/175　(2016.01)
Ａ６１Ｋ　31/197　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 3/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　21/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２３Ｌ　33/175
Ａ６１Ｋ　31/197
Ａ６１Ｐ　 3/02
Ａ６１Ｐ　21/00
Ａ６１Ｐ　11/00

【手続補正書】
【提出日】平成29年7月7日(2017.7.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
戦術パフォーマンスおよび／または精神運動パフォーマンスを維持または改善するための、有効量で、ある期間にわたって使用されるヒト栄養補助食品の製造における、遊離アミノ酸ベータ‐アラニンまたはその塩の使用。
【請求項２】
個人が、疲労する高負荷の身体活動を行っているか、および／またはストレスの多い環境中で機能を果たしている、請求項１に記載の使用。
【請求項３】
前記ヒト栄養補助食品が、複数の日数にわたって、１日あたり１回以上投与される、請求項１に記載の使用。
【請求項４】
前記有効量が、少なくとも約３．０ｇの遊離アミノ酸ベータ‐アラニンまたはその塩である、請求項３に記載の使用。
【請求項５】
前記ヒト栄養補助食品が、自然の食料または従来の食料に由来しない、請求項１に記載の使用。
【請求項６】
前記複数の日数が、少なくとも７日間の期間である、請求項３に記載の使用。
【請求項７】
前記複数の日数に、栄養補助なしの日が含まれる、請求項３に記載の使用。
【請求項８】

前記栄養補助なしの日が、１日を超えて連続せず、７日間の期間のうちの２日間を超えない、請求項７に記載の使用。
【請求項９】
前記ヒト栄養補助食品が、クレアチン、インスリン刺激剤、炭水化物、ビタミン、その他のタンパク質、およびアミノ酸、またはこれらの組み合わせの形態と共に提供されてよい、請求項１に記載の使用。
【請求項１０】
前記投与工程が、前記戦術パフォーマンスおよび／または精神運動パフォーマンスの前、前記戦術パフォーマンスおよび／または精神運動パフォーマンスの過程、または前記戦術パフォーマンスおよび／または精神運動パフォーマンスの後である、請求項９に記載の使用。
【請求項１１】
前記投与工程が、前記戦術パフォーマンスおよび／または精神運動パフォーマンスの前、前記戦術パフォーマンスおよび／または精神運動パフォーマンスの過程、または前記戦術パフォーマンスおよび／または精神運動パフォーマンスの後である、請求項１に記載の使用。
【請求項１２】
前記戦術パフォーマンスおよび／または精神運動パフォーマンスにおける改善が達成された後に、前記有効量を調節してメンテナンス期を可能とすることを含む、請求項１に記載の使用。
【請求項１３】
高速度で走る距離を増加させるための、有効量で、ある期間にわたって使用されるヒト栄養補助食品の製造における、遊離アミノ酸ベータ‐アラニンまたはその塩の使用。
【請求項１４】
前記高速度で走る距離が、低、中、および高速度で走るより長い距離のある割合である、請求項１３に記載の使用。
【請求項１５】
前記割合が、７％から４３％である、請求項１４に記載の使用。
【請求項１６】
前記ヒト栄養補助食品が、複数の日数にわたって、１日あたり１回以上投与される、請求項１４に記載の使用。
【請求項１７】
前記複数の日数に、栄養補助なしの日が含まれる、請求項１６に記載の使用。
【請求項１８】
前記投与工程が、高速度で走る距離の前、高速度で走る距離の過程、または高速度で走る距離の後である、請求項１３に記載の使用。
【請求項１９】
前記ヒト栄養補助食品が、クレアチン、インスリン刺激剤、炭水化物、ビタミン、その他のタンパク質、およびアミノ酸、またはこれらの組み合わせの形態と共に提供されてよい、請求項１３に記載の使用。
【請求項２０】
前記高速度で走る距離の増加が達成された後に、前記有効量を調節してメンテナンス期を可能とすることをさらに必要とする、請求項１３に記載の使用。
【請求項２１】
個人による標的捕捉、精度、および交戦時間を改善するための、有効量で、ある期間にわたって使用されるヒト栄養補助食品の製造における、遊離アミノ酸ベータ‐アラニンまたはその塩の使用。
【請求項２２】
前記ヒト栄養補助食品が、複数の日数にわたって、１日あたり１回以上投与される、請求項２１に記載の使用。

【請求項２３】
前記複数の日数に、栄養補助なしの日が含まれる、請求項２２に記載の使用。
【請求項２４】
前記ヒト栄養補助食品が、クレアチン、インスリン刺激剤、炭水化物、ビタミン、その他のタンパク質、およびアミノ酸、またはこれらの組み合わせの形態と共に提供されてよい、請求項２２に記載の使用。
【請求項２５】
前記標的捕捉の改善が達成された後に、前記有効量を調節してメンテナンス期を可能とすることを含む、請求項２１に記載の使用。
【請求項２６】
軍隊の即応性を高めるか、
激しい身体活動後の射撃精度を改善するか、
反応時間を短縮するか、
重大な活動時の身体的ストレスに起因する無意識の筋肉の活動または動きを抑制するか、
身体的に疲労し、ストレスの多い状況の過程および後における呼吸または息の制御を向上させるか、または
これらの組み合わせをもたらすための、
有効量で、ある期間にわたって使用されるヒト栄養補助食品の製造における、遊離アミノ酸ベータ‐アラニンまたはその塩の使用。
【請求項２７】
前記ヒト栄養補助食品が、複数の日数にわたって、１日あたり１回以上投与される、請求項２６に記載の使用。
【請求項２８】
前記有効量が、前記遊離アミノ酸ベータ‐アラニンまたはその塩の少なくとも約３．０ｇである、請求項２７に記載の使用。
【請求項２９】
前記ヒト栄養補助食品が、自然の、または従来の食料に由来しない、請求項２６に記載の使用。
【請求項３０】
前記複数の日数が、少なくとも７日間の期間である、請求項２７に記載の使用。
【請求項３１】
前記複数の日数に、栄養補助なしの日が含まれる、請求項２７に記載の使用。
【請求項３２】
前記栄養補助なしの日が、１日を超えて連続せず、７日間の期間のうちの２日間を超えない、請求項３１に記載の使用。
【請求項３３】
前記ヒト栄養補助食品が、クレアチン、インスリン刺激剤、炭水化物、ビタミン、その他のタンパク質、およびアミノ酸、またはこれらの組み合わせの形態と共に提供されてよい、請求項２６に記載の使用。
【請求項３４】
激しい身体活動の過程および後におけるパス精度の改善、
激しい身体活動の過程および後におけるシュート精度の改善、
精神運動機能の上昇、
反応時間の短縮、
重大な活動時の身体的ストレスに起因する無意識の筋肉の活動または動きの抑制、
身体的に疲労し、ストレスの多い状況の過程および後における呼吸または息の制御の向上、または、これらの組み合わせ、によってスポーツチームの効果を高めるための、有効量で、ある期間にわたって使用されるヒト栄養補助食品の製造における、遊離アミノ酸ベータ‐アラニンまたはその塩の使用。

【請求項３５】
軍隊の即応性の向上、
激しい身体活動後における射撃精度の改善、
精神運動機能の上昇、
反応時間の短縮、
重大な活動時の身体的ストレスに起因する無意識の筋肉の活動または動きの抑制；
身体的に疲労し、ストレスの多い状況の過程および後における呼吸または息の制御の向上、または、これらの組み合わせ、によって軍隊ユニットの効果の効果を高めるための、有効量で、ある期間にわたって使用されるヒト栄養補助食品の製造における、遊離アミノ酸ベータ‐アラニンまたはその塩の使用。